



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和8年2月号

〒364-0032
北本市緑3丁目387番地
TEL 048-591-4709
FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校** 「かしこく げんきな 南っ子」

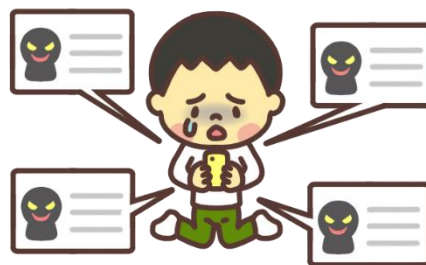
「SNS」のメリット・デメリット

校長 酒井 一昭

現在、小学生でも多くの児童が「スマートフォン」を持ち、「SNS」を利用しているのが実態です。その子供たちは、SNSについて自らが学び、知識としては理解して使いこなしていますが、いざ友達との間では善悪の判断がつかず行動することがあります。

「SNS」とは、「インターネット上で人々がつながり、情報共有やコミュニケーションを行う会員制サービス」のことです。代表的な「SNS」アプリは、「Facebook(フェイスブック)」、「Instagram(インスタグラム)」、「X/Twitter(エックス/ツイター)」、「TikTok(ティックトック)」、「YouTube(ユーチューブ)」、「LINE(ライン)」などです。基本的に、小学生がこれらの「SNS」を使って情報発信することは、それぞれの規約によって年齢制限等があります。閲覧することも制限がされています。それは、企業側が様々な危険性を認識しているからです。利用者側も気を付けなければいけません。

「SNS」を使うメリットとは、「リアルタイムで情報が得られる」「友人や家族と繋がる」「気軽に情報発信や拡散ができる」「自分にとって興味関心がある情報を収集できる」「新しいつながりが増え交友関係を広げられる」などがあります。



逆に、「SNS」を使うデメリット・注意点は「個人情報の流出などのプライバシー侵害リスク」「誹謗中傷やネットいじめなどの人間関係トラブル」「フェイクニュースに騙される」などがあります。

もし、心配のある画像や動画を配信したら、不特定多数の人がその動画を見ることになります。そして、わずかな画像の情報や、データの裏側にある履歴などで居場所を特定されたり、誹謗・中傷されたりしてしまいます。子どもたちはほんの遊びのつもりでも、インターネットは一瞬で世界とつながる優れた道具であるため、一生その記録は残り、心を傷つけられることにもつながりかねません。改めて、子どもたち、保護者の皆様にはその危険性をご理解いただきたいと思います。

しかし、これからの時代、この便利な道具を使いこなさなければならないのも事実です。スマートフォン・SNS・ゲームの利用についても、正しく使えるように、繰り返し丁寧に大人が教える必要があります。大切なのは、何がよくないのかを実感させること、友達同士の場面でも正しく判断する力を身につけさせることです。学校でも継続的に指導してまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最近、教育現場で撮影された生徒が暴行を受ける動画の拡散が相次いでいます。

動画は拡散のスピードが速く、そのことにより加害・被害いずれのプライバシーもさらされてしまう恐ろしさを感じています。「マスコミ」でも取り上げ、話題としています。ネット上のいじめがリアルないじめ、身体的な暴力の拡大につながっていきます。広がるのが早い分だけ被害規模も大きいのです。中には面白おかしく反応してしまう、愉快犯的なものも出てきてます。

児童の皆さん、もし、暴力行為やいじめを受けている、暴力行為やいじめを見たという人、他にも困っていることがある人は先生や保護者に相談してください。先生や保護者に相談しづらい人は下の相談窓口などもあります。

〇いじめ通報窓口(埼玉県教育委員会)【通報内容 いじめに関すること】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html>



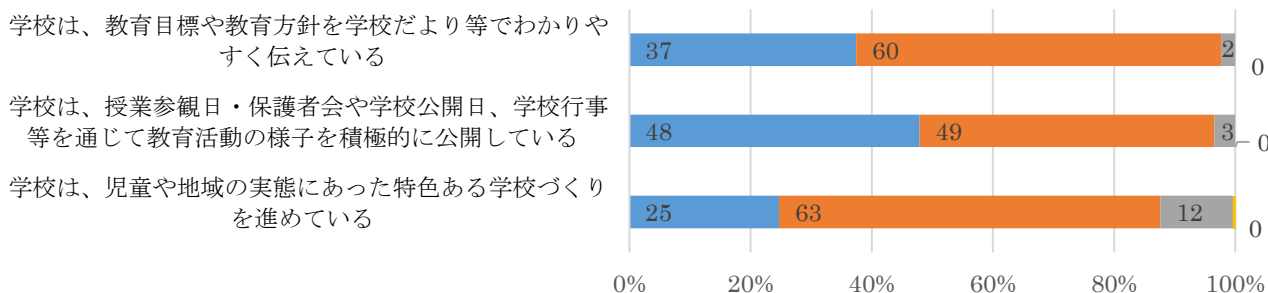
令和7年度 学校アンケート 集計結果

11月20日～12月5日に、保護者様へ学校アンケートへの回答をお願いしたところ、ご回答くださりまして、ありがとうございました。(回答数261、家庭数379、回答率 約69%)

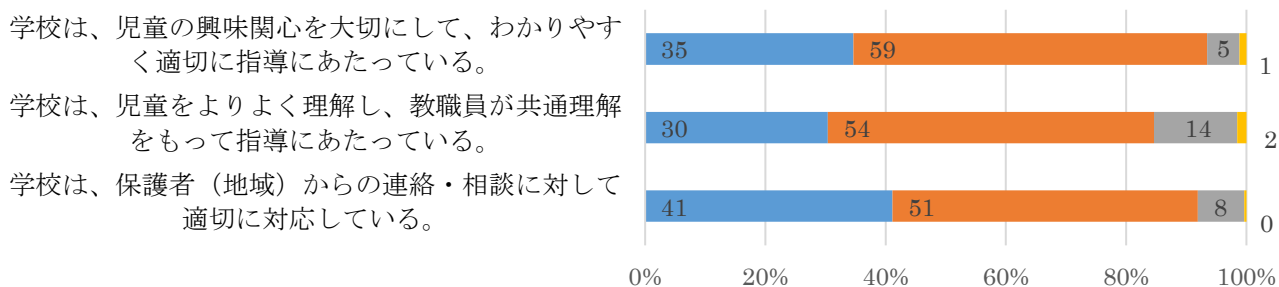
集計結果は以下のとおりです。自由記述については、様々なご意見等をいただきました。どれも本校に対する大切なご意見と捉えています。教職員のみならず、学校運営協議会でも改善策等について協議し、今後の教育活動の改善につなげてまいります。

■よく当てはまる ■やや当てはまる ■あまりあてはまらない ■全く当てはまらない

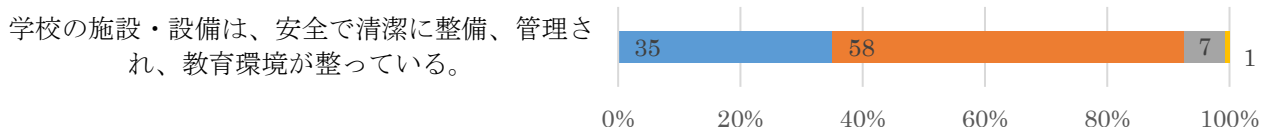
1 特色ある学校づくり・地域に開かれた学校づくり・情報発信



2 学校の指導体制・保護者への対応



3 教室環境の整備



4 学校教育目標の実現

